

令和元年度第3回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略 推進協議会会議録（要旨）

- 開催日時 令和元年8月22日（木） 午後2時～午後4時30分
- 開催場所 府中駅北第2庁舎5階会議室
- 出席委員 11名
都留会長、秋山副会長、市川委員、加藤委員、金子委員、小出委員、齋藤委員、鈴木委員、武井委員、中島委員、森委員
- 欠席委員 1名
小野満委員
- 出席説明員等
遠藤政策総務部長、矢ヶ崎政策課長、岡村政策課副主幹、桜田理事、橋本主任
- 傍聴者 1名
- 議事日程
 - 1 開会
 - 2 確認事項
 - (1) 令和元年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会会議録（要旨）について
 - (2) 具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況の評価について（対象：平成30年度 2事業）
 - 3 審議事項
 - (1) 具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況の評価について（対象：平成30年度 5事業）
 - (2) 「府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のあり方について（答申）（案）」について
 - 4 その他

■ 会 議 録 (要旨)

○会 長 ただいまから、令和元年度第3回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を始めます。本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。

○事務局 (出席状況の報告)

○会 長 傍聴希望について、事務局から状況報告をお願いします。

○事務局 本日は1名の傍聴希望者がいらっしゃいます。

○会 長 それでは、傍聴者に入室してもらいたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同 (異議なし)

○会 長 事務局は傍聴者の入場を案内してください。
続きまして、本日の配布資料について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 本日配布した資料について説明いたします。

(配布資料の確認・説明)

【確認事項】

○会 長 「令和元年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会会議録(要旨)について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料1の会議録につきましては、7月に開催しました第2回会議の内容をまとめたものになります。委員の皆様には事前に確認の依頼をさせていただき、特段修正等のご連絡をいただいておりますので、修正はございません。

○会 長 委員から何かご意見などがあればお願いします。

○委 員 11ページの下から4つ目の発言で、「主催は警察なのですが」を「府

中警察署の協力のもと実施しているの」などに変えていただければと思います。

○会 長 それは正しい情報ですか。

○委 員 はい。ただし、主催は府中市になります。

○会 長 事務局は事実関係を確認した上で、修正をお願いします。

○委 員 12ページの3つ目の発言ですが、会話の流れの中でのニュアンスが、文字にすると適切でない表現もあるので修正いただければと思います。

○会 長 担当委員から事務局に修正案を送付いただき、事務局は修正をお願いします。

○会 長 次に、「具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価について（対象：平成30年度 2事業）」について、まず、事務局から説明をお願いします。

○事務局 （資料2に基づき、修正部分を中心に説明）

○会 長 資料2の修正について、意見等がありますか。

○委員一同 （異議なし）

○会 長 それでは、事務局は公開の手続きをお願いします。

【審議事項】

○会 長 次に、「具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価について（対象：平成30年度 5事業）」に移ります。前回の会議で審議した施策の内、2施策については主管課の評価内容に不備がありましたので、修正し、修正後の評価票に基づいて、担当委員に改めて協議会としての評価をしていただいています。担当委員につきましては、お忙しい中、再度評価いただきありがとうございました。では、施策「地域の連携によるにぎわいの創出」について、まず、事務局から担当課評価について説明願います。

○事務局 （資料3に基づき、担当課評価の概要について説明）

○会長 続いて、担当委員から協議会評価の説明をお願いします。

○担当委員 まず、中心市街地の賑わい創出に向けた各種取組や2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた府中市の魅力発信事業が推進されたことは評価できる。また、KPIの指標も29年度同様高い数値を維持したことは評価できる、とし、指標となるKPIが一つで目標数値を達成しており、主管課と同様、協議会評価も「A」としています。

最後の文を、「中心市街地の活性化や訪問者の増加に向けた取組みを実施してもらいたい。」としていましたが、11ページの地方創生関連交付金対象事業のラグビーのまち府中推進事業の協議会評価の三つ目の項目に合わせた表現にしていただければと思います。

○会長 いまの交付金対象事業のところは、15ページの「市有財産の活用による中心市街地の活性化に向けたまちづくり推進事業」にも関連するところなので、もう一度、その事業の評価の際に議論するようにします。

では、そのほか担当課評価の修文と協議会評価の修文に関してご意見はありますか。

○担当委員 16ページに競馬場のタイアップ事業が指標としてあるのですが、そこでは「C」と評価しています。この事業は、内容としてはそれと同じような事業なので、評価のしづらいところがありました。

○会長 この事業はもともと「A」評価になっていて、担当課の取組も定性的な情報がたくさんあるので、「A」でよろしいとわたしは思いますが、いかがでしょうか。

○委員一同 （了承）

○事務局 事務局から訂正させていただきます。2ページの○の2つ目になりますが、「同法人」の記載がないので、「一般社団法人まちづくり府中」と修文させていただきます。

○会 長 担当課評価の○の4つ目に「外国人観光客おもてなし職員がインスタグラムを使って」とありますが、これがインスタグラムだけならいいですが、フェイスブックなども使っているようであればSNSと書く必要があります。

○担当委員 フェイスブックも使っていますが、インスタグラムを強調したかったのだと思います。

○委 員 外国人向けに対してもフェイスブックを使っていますか。

○担当委員 使っています。

○会 長 フェイスブックを使っているのであれば、SNSとした方がいいと思います。

○委 員 外国人観光客おもてなし職員という方はずっといらっしゃるのか、それともこういう施策のために雇われた方ですか。

○事務局 現時点における職員の身分としては嘱託職員です。この事業を推進するにあたって、適任だと思われる方を雇用しています。任期については、こちらで情報は持っておりませんが、常時雇用という位置付けの職員ではありません。

○委 員 そうであれば、むしろそのことを書いた方がいいのではないかと思います。

○会 長 まず、外国人おもてなしのために嘱託職員を雇われているというのは、ありうることだと思います。嘱託職員と書くかは別として、主旨は、そういう職員を雇って外国人向けの情報発信を一生懸命行っているということです。それが、伝わるような文章にしていただければと思います。

○会 長 それでは、次に、資料の順番とは異なりますが、この施策と関連する地方創生関連交付金対象事業の「市有財産の活用による中心市街地活性化に向けたまちづくり推進事業」に移りたいと思います。事務局から説明願います。

○事務局 （「市有財産の活用による中心市街地活性化に向けたまちづくり推進事業」の担当課の平成30年度の取組内容と評価及び協議会評価を説明）

○会 長 これについて、ご意見はありますか。

○委 員 協議会評価の一番下ですが、「観光情報センターへ立ち寄りなければならない方式の今回のアナログ方式に問題があったのか」とありますが、観光協会のアナログ方式だけになったわけではなく、従来どおりのデジタル方式も併用していると認識しています。

○事務局 この事業につきましては、新たなアナログ方式と合わせてデジタル方式も行っております。参考資料の最後のページに記載がありますが、「②事業概要」の三項目がアナログ方式で、その前の二つの項目がデジタル方式の説明になります。

○会 長 そもそも、東京競馬場タイアップ来店数が半減から、さらに4分の1にどうして落ちたのかという中身の問題ではないかと思います。本当の原因が分かる方はいますか。

○事務局 主管課に確認した内容といたしましては、あくまでも推測になるのですが、まず、周知が不足していたこと、次にK P I ④の「タイアップ参加店舗数」が減少したこと、さらに実施期間が平成29年度の4か月から平成30年度は1か月半に短縮したことでないかと、聞いています。

○事務局 補足になりますが、K P I ⑤の平成28年度当時の17,190人という数値は、地方創生加速化交付金を活用して、1,290万円を使い、グルメサイトとコラボして特設サイトの開設や京王線の中吊り広告を掲出するなど、大掛かりなPRを行いました。翌年度はグルメサイトとのコラボがなくなって半減し、さらに30年度に4分の1に減少したのは、参加店舗数の減少と期間の短縮という二つのことが考えられます。

○会 長 ということは、デジタル方式やアナログ方式というのはあまり関係ないことになります。まず、いまの協議会評価の記載が実態を反映した書きぶりになっていないので、修正が必要になることと、次の交付金対象事業に申請する場合、できたこととできなかったことを明確に書いて、できなかったことに関して、どうすればいいのかということを書くべきでないかと思います。

これが単に評価だけであれば突き放した書きぶりでもいいと思いますが、次の交付金につげる場合は、書きぶりを考えた方がいいと思います。

○委員 まず、事実確認として、平成27年から平成30年までの間のデジタル方式とアナログ方式を併用で行った期間はいつになりますか。

○委員 アナログ方式は昨年からです。

○委員 平成29年度まではデジタルのみということですね。ということは、減少理由としては、デジタルかアナログかということで書くのではなく、事務局から説明があったことを要因として記載すべきだと思います。あとは、交付金申請ということに関しては、良い悪いは別にして、平成28年度の交付金としては効果を出していたということになります。平成29年度に数値が下がったことから、交付金を使った一過性の方法から、持続的な仕組みを今後も検討していくといった解釈でよろしいですか。

○会長 そのように書かないと話にならないと思います。

○委員 まずは、交付金をもらって一度成果を出したことを書いて、もらえなくなったら半減したことを材料としていい意味で使えばいいと思います。その上で、そこを埋めるアイデアで交付金を申請すればいいと考えます。

○委員 平成29年度以降も交付金はもらっていたと思いますが。

○事務局 平成28年度の補助率が10分の10から、平成29年度は2分の1に変更されています。

○委員 そうなってくると、補助率が変わっているのに同じ事業ができるわけではないので、納得できます。

○事務局 先ほど記載の内容についてのご指摘があったのですが、平成28年度は10分の10の補助金を使って十分な周知を行い、非常に認知度が高まったが、平成29年度から前年どおりの交付金が受けられなくなったので、検討した結果、デジタル方式によるスタンプラリー方式になった。しかし、平成29年度実績が芳しくなかったため、平成30年度はそれに加えてアナログ方式も取り入れたことから、このような記載になっています。

○会長 原因ははっきりしていて、圧倒的にグルメサイトの影響が大きく、

それがなくなったことで数値が減少したということです。

○委員 期待を込めて、ということになりますが、令和元年度を取組で実施期間が延びることが書いてありますので、それにより参加者が増えるよう努力いただきたいと書いていただきたいと思います。

○会長 細かい話になりますが、担当課評価の②「ソフト施策の充実」ということばが、抽象的で何を指しているのか分からないため、具体的に中身を括弧書きで補うなどしていただければと思います。また、③「ル・シーニュの売上高なども加算されたことにより」の主語は「大規模商業施設の年間販売額」になると思うので、主語を補ってもらいたいと思います。

○副会長 協議会評価のK P I ③のところで、そもそも目標値の350億円はル・シーニュ分も見込んだ販売額ということで設定しているのですか。

○事務局 そのとおりです。

○委員 補助金の補助率や、先ほど事務局から説明のあったことなどは、担当課評価の中に整理して記載する方がいいと思います。それにより、協議会評価も変わってくると思います。

○事務局 17ページにおける④⑤の担当課評価については、担当課と内容について協議をさせていただきたいと思います。同じく17ページで1点修正をお願いしたいのですが、②の最後の行に「歩行者交通量」とあるのを「歩行者通行量」と修正させていただければと思います。また、18ページの令和元年度を取組の②でも、同様に「歩行者通行量」と修正いたします。

○会長 それでは、次に、「歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実」に移りたいと思います。事務局から説明願います。

○事務局 （「歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実」の担当課の平成30年度を取組内容と評価及び協議会評価を説明）

○会長 これは前回からの継続審議になりますので、特に問題がないようでしたら次に進めたいと思いますが、よろしいですか。

○委員 7ページ2行目の「美術館における1日あたり」の部分ですが、美術館の後に「開館時に」を追加した方が分かりやすいと思います。

○会長 では、その言葉を入れましょう。

○委員 事務局に質問ですが、参考資料の地方創生関連交付金事業のかかるコンテンツに記載がある郷土の森博物館と美術館の入込客数と、この事業のKPI①の数値が異なるのは、数え方が違うのですか。

○事務局 人数のカウント方法が異なる可能性がありますので、確認いたします。

○会長 それでは、次に、「ラグビーのまち府中推進事業」に移りたいと思います。事務局から説明願います。

○事務局 （「ラグビーのまち府中推進事業」の担当課の平成30年度の取組内容と評価及び協議会評価を説明）

○会長 まず協議会評価の最後の項目について、先ほど「地域の連携によるにぎわいの創出」の担当委員の方から整合性を取った方がいいと問題提起されましたが、ここはどういたしましょうか。

○委員 3ページの下から2行目の「中心市街地の活性化や」以降を、11ページに記載の「にぎわい創出に寄与するような取り組みを期待したい。」のような表現に修正いただきたいと思います。

○委員 KPI⑤「市内にラグビーチームが存在することを認知している市民の数」はどのように算出していますか。

○事務局 市政世論調査の結果から推計値を出しています。世論調査につきましては、市民全員に対して行っているものではございませんので、回答いただいた割合を市民数に掛けて算出したものでございます。

○会長 他のKPIは割合を単位としているのに、なぜこれだけ割合でないのか気になりますが、設定時に決めたものになり、この数字が上がってきているので改善しているということは間違いありません。

K P I ⑤に関する委員のご意見はもったもなので、「市政世論調査に基づく推計値」のような注を入れていただければと思います。

○会 長 それでは、次に、「百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業」に移りたいと思います。事務局から説明願います。

○事務局 （「百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業」の担当課の平成30年度の取組内容と評価及び協議会評価を説明）

○会 長 K P I 自体は数値目標なので動かさないわけですが、そもそも、K P I ③「府中市主要観光施設観光入込客数」の対象施設がいくつも休館しています。①と②のK P I が本当にこのかるたを活用したにぎわいの創出を正確に表現する指標なのかについては、議論の余地がありますが、この二つのK P I は「A」評価です。③の減少についてもどう考えても不可抗力なので、担当課評価に書かれた定性的な情報である平成30年度の様々な取組内容と三つのK P I に「A」が二つあることを踏まえると、協議会評価も「A」でいいと私は思いますが、いかがでしょうか。

○委 員 記載されている内容だけであれば、「A」でもいいと思いますが、先ほど交付金関係の話もあり、初年度はそれなりのお金を使っています。徐々にそれが少なくなっていく中、K P I がそれに伴って変動するものではありませんが、事業自体は縮小してきているという状況でもあります。

○委 員 担当課の評価は「B」でいいと思いますが、協議会の評価としては「A」でいいのではないかと思います。別の事業になりますが、4ページのK P I が「B」と「A」でも、最終的な協議会評価を「A」としているので、もし、この事業を「B」とするのであれば、それ相応の理由をもう少し書き、他との評価基準の整合性を見直す必要があると思います。

他に事情があるとしても、それは協議会での評価ではないかなと思います。

○委 員 閉館しているところがひっかかかっていて、美術館に関しても1日あたりの入場者数が増えていて、実際その数値で年間の入場者の見込みを出したらおそらく増えた数字になるというところで期待したい、のような記載があれば「A」でもよいと思います。

○会 長 協議会としては、K P I と担当課評価の内容で判断するしかないの

で、K P I 3つのうちの2つが「A」であり、「B」とされた指標についても外部の要因が書かれているので、全体としては「A」評価でいいと思いますが、どうですか。

○委員一同 （異議なし）

○会 長 特に意見がなければ、協議会評価は「A」にします。

それでは、会議スタートから2時間程度経ちましたので、10分程度休憩を入れたいと思います。

（休憩 10分間）

○会 長 会議を再開いたします。

○会 長 次に審議事項の「府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のあり方について(答申)(案)」について、事務局から説明願います。

○事務局 「府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略のあり方について(答申)(案)」を説明

○会 長 事務局から、前回までの議論を踏まえて作成された答申案について説明がありました。この資料については、事前に少し早めに皆さんにお送りしてありましたが、ご意見やお気づきの点がありましたら、ご発言をお願いします。

○委員一同 （異議なし）

○会 長 資料裏面の3の(1)と(3)が、答申書のひとつのポイントになるところです。答申した内容をどう受け止めて、具体的な施策にしていくのかというのは市の判断に委ねることになります。

これでよろしいでしょうか。

○委員一同 （了承）

○会 長 それでは、最後に、「その他」ですが、最後に「その他」として、委員の皆様から何かありますか。事務局からは何かありますか。

○事務局 事務局から3点ご連絡させていただきます。

1点目は、本日ご決定いただきました答申書につきましては、後日、会長・副会長から高野市長に提出していただくこととなります。なお、答申の日程は会長、副会長と市長のご予定を調整して今後決めてまいります。決定次第、皆様にご連絡いたしますので、ご都合のつく方は事務局までご連絡いただければと思います。

2点目は、本日ご確認いただきました第2回協議会の会議録及び評価票につきましては、修文の上、公開の進めさせていただきます。また、本日の会議録とご審議いただきました評価票5事業につきましては、いただいたご意見を踏まえまして、修正の上、後日、皆様にメールにて確認の依頼をさせていただきます。問題ないようでしたら、公開の進めさせていただきます。

3点目は、本日の会議をもちまして、令和元年度の府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会は終了となります。来年度につきましても、今年度における総合戦略の各施策の進捗状況について評価いただくこととなりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

今年度最後の会議となりますので、事務局を代表いたしまして政策総務部長よりご挨拶申し上げます。

○政策総務部長 本日は、本年度の最後の会議となりますので、私からご挨拶申し上げます。

会長、副会長をはじめ、委員の皆様には、平成30年12月18日付けの諮問に基づき、総合戦略の今後のあり方を検討していただくとともに、総合戦略の進行管理について、大変熱心にご議論をいただき、深く感謝しております。本日ご議論いただいた答申書を後日市長に提出していただく予定ですが、その内容をもとに、将来を見据えて魅力と活力のあるまちを維持できるよう、地方創生の充実・強化に向け、今後も切れ目ない取組を進めてまいりたいと存じます。

なお、各施策の評価につきましては、来年度以降も本協議会として継続してまいりますので、委員の皆様には、引き続き、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、会長・副会長をはじめ、委員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、御礼の挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

○会 長 では、以上をもちまして、令和元年度第3回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を閉会いたします。

閉会にあたりまして、分担制でご評価いただきありがとうございました。

今日議論しました交付金対象事業に関しましては、市の予算編成等の関係で基本的にはお任せするほかはありませんが、本日の議論を踏まえてわたしの希望としては、取れる交付事業を是非取ってください。そのために意見が必要でしたら、会長、副会長などは協力を惜しみませんのでよろしくお願いします。

それでは長時間になりましたが、どうもありがとうございました。

以 上